

道路行政セミナー09年5月号 NO.008 2009年5月25日発行

★☆☆ポイント☆☆★

◆◆◆特集◆◆◆

平成20年度における地方道路整備臨時交付金の総額の限度額の特例に関する法律について (国土交通省 道路局 路政課)

最近の地域経済の状況等を踏まえ、揮発油税収の減額補正に伴って地方道路整備臨時交付金の総額の限度額が減少しないよう、地方道路整備臨時交付金の総額の限度額について、揮発油税収の補正後予算額の4分の1相当額に引き下げず、当初予算額の4分の1相当額とすることを内容する法律を紹介します。

◆◆◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◆◆

道路外利便施設の協定について(関東地方整備局 道路部 路政課)

道路外利便施設の協定について、全国で初めての事例「一般国道1号における道路外利便施設に関する協定」を紹介します。一部歩道幅員が狭くなっている国道の隣接地に、公開空地として管理している土地が存していました。そこで、道路管理者として、道路外利便施設協定制度を適用し、幅員の狭い歩道と公開空地を一体的に管理することによって、安全で快適な歩行空間の確保が図れると考え、公開空地所有者等と道路外利便施設の協定締結に向けて協議を行っているものです。

～えひめ愛ロード運動について(愛媛県 土木部 道路都市局 道路維持課)

愛媛県では、県管理道路においてボランティアによる清掃美化活動に加えて、企業等からの協賛金を活用した事業の拡充などに伴い、これら県民とのパートナーシップに基づく事業を「えひめ愛ロード運動」として集約体系化して、新しい道路環境づくりを推進しています。そこで、この運動の概要を紹介いたします。

『坂の上の雲』の松山」の道(愛媛県 松山市)

松山市が進める小説『坂の上の雲』のまちづくり。まち全体を博物館にみたてた「ワールドミュージアム」の具現化策として行っている各種整備が進められています。なかでも、官民一体となった道路景観整備の取組みは、平成21年の地価公示において、四国の商業地で唯一上昇、上昇率で全国2位となる等、有効な成果を示しています。このような本市のまちづくりの取組みを事例紹介いたします。

◆◆◆TOPICS◆◆◆（国土交通省 道路局 路政課）

「人間重視の道路創造研究会」における検討状況について

地域や道路利用者等の多様なニーズに対応して、道路空間の再構築を促進する仕組みについて有識者等からのご意見を踏まえて検討を行うため、国土交通省道路局において「人間重視の道路創造研究会」を設置した。

本研究会においては、これまで自動車を円滑に通行させるだけでなく歩行者・自転車など他の道路利用者や地域住民の生活の質を高めるような道路機能のあり方等について議論を積み重ねてきた。

本稿では本研究会について、これまでの検討状況等について紹介する。

◆◆◆TOPICS◆◆◆（国土交通省 道路局 路政課）

不用物件の管理期間の短縮について

不用物件の管理期間については、道路管理者が実務上携わる機会が多く、管理の効率化に向け対応してきたところですが、不用物件の処分状況等を把握することにより、実態に即した管理期間に見直しました。

本稿ではその改正内容等について、紹介します。

編集後記

(財)道路新産業開発機構は平成21年5月7日より、慣れ親しんだ中央区築地を離れ文京区関口に移転をしました。東京メトロ有楽町線の江戸川橋駅1a出口より徒歩1分です。お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。江戸川橋については、もう少し散策をしてからご報告をしたいと思います。ご期待ください。

今回は、我が家でも一緒に生活をしているペットについて……

みなさんはペットを飼っていますか？不況・不況と叫ばれるこの頃ですが、ペットにかける年間支出はこの不況下でも20%増加しているそうです。

考えてみれば、我が家の愛犬 もめん（白いポメラニアン）も、体重はオーバー気味。6キロもあります。（通常の平均体重は3.5～4キロ程度）10歳という犬としては老年期にさしかかる事もあり、獣医さんからは食事の量を減らすように！（怒）と毎回怒られてしまいます。しかし、彼女（犬）の食事に対する執念は凄まじく、幸い大きな怪我や病気はした事がないのに入院歴は2回……。1度目は人間の夕食時のヤキトリを驚くような速さで母親の隙をついて盗み食い。串が喉にささって大手術……。2度目は体重オーバーを真剣に考える家族から大好きな“おやつ”を全くもらえなくなった腹いせなのか、私のストールの糸をモグモグ。ほそ〜い糸が胃の中で絡まったらしく具合が悪くなり緊急手術……。

人間でも3大欲のうちいずれかには依存するものと言われたりしますが、彼女（犬）の場合は……。確実に食欲なんですね。

それでも私達家族にとって愛犬もめんは本当に大切な存在で、入院中などは家にはいるはずもないのに名前を呼んでしまったり、楽しそうに公園を散歩する姿やすやすやと寝ている様子を見ていると心から愛しく感じます。ペットと一緒に生活をしている方なら多くの方が感じる事だと思いますが、単なるペットではなく既にかけてあげられない家族となっているのだと思います。

また、私のように家族全員が大人になってそれぞれが仕事もするようになり、お互いの予定も中々合わず会話も少なくなる中、彼女（犬）の存在が私達人間の良い潤滑油になってくれているとも思っています。

昨今のペットブームの波に乗り、ペットと一緒に生活を始める人もたくさんいますが、一方では動物保護センターに保護されて処分されてしまう動物達が増えている事もとても悲しいですが事実です。ペットはほとんどの場合、人より先に天国へと旅立ちます。単にブームだから・人気の種類だから・可愛いからと気軽に飼い始めるのではなく、どんなに小さな動物の命でも私達人間と同じ大切な命だということを忘れないで欲しいと思います。

ペットも人間と同じように確実に迎える “老い” や “病気”。天国に旅立つその時まできちんと責任を持つ覚悟をしてから家族に迎えてあげて欲しいと思います。

私も家族の一員である もめん と少しでも長く一緒にいられるように、健康に注意し楽しく生活していきたいと思っています。 (K)